

多世代交流による新しい支えあいのしくみづくり

In 知多地域

# BEST PRACTICE

ベスト プラクティス







●●先進取組事例集●●












# もくじ




## カフェ型

 りんりん茶屋 .....	4
 ふれあいの居場所 みどり .....	5
 A d a - c o d a .....	6
 あみーご .....	7
 こもれび .....	8
 H a n d A C a f e .....	9

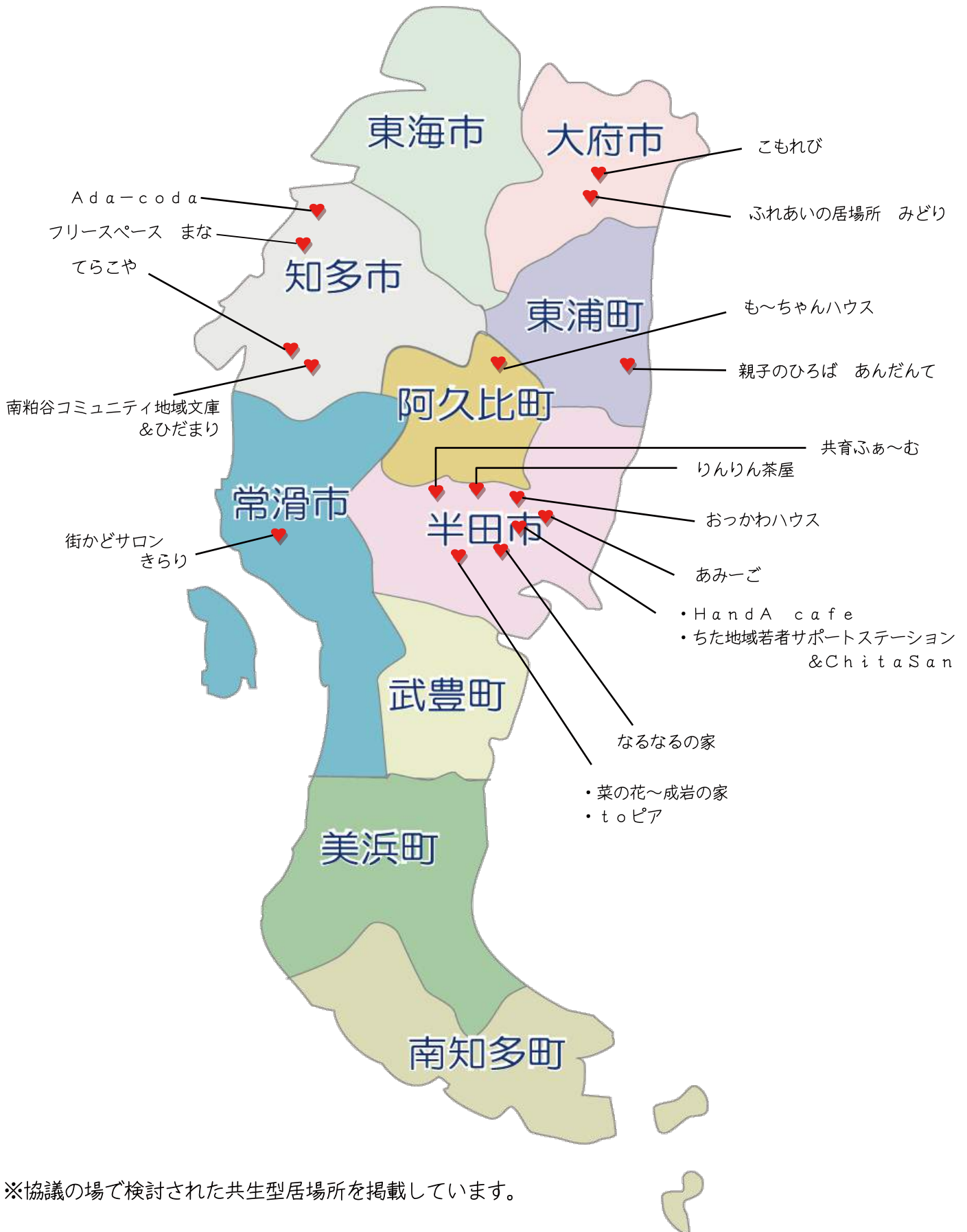
## 課題解決型

 ちた地域若者サポートステーション & ChitaSan .....	10
 街かどサロン きらり .....	11
 南粕谷コミュニティ地域文庫 & ひだまり .....	12
 親子の広場 あんだんて .....	13
 おっかわハウス .....	14
 なるなるの家 .....	15
 菜の花の家～成岩 .....	16
 t o ピア .....	17
 フリースペース まな .....	18

## 体験型

 共育ふあ～む .....	19
 も～ちゃんハウス .....	20
 てらこや .....	21

# 共生型居場所マップ



※協議の場で検討された共生型居場所を掲載しています。

りんりん茶屋

施設概要



名 称	りんりん茶屋
住 所	愛知県半田市岩滑高山町5-4
T E L	0569-21-3646
F A X	0569-32-6623
E-mail	npo@rinrin.or
U R L	http://rinrin.or.jp/
営業時間	10:00~15:00 (ランチは月・木のみ)
休 館 日	土・日・祝日
運 営	特定非営利活動法人 りんりん

立ち上げ経緯

デイサービス岩滑、放課後児童クラブりんごハウスが空間を隔てて並ぶ。

そんな中、「誰もが入って来られる場があり、“りんりん”を知ってもらえたらいいな」「ヘルパーさん同士が交流できる場があればいいな」「子どもから、大人まで自由に過ごせる場があればいいな」というスタッフの願いから生まれたのが、りんりん茶屋である。



親子で集まって、新鮮野菜を使ったランチをいただきます～！！



具体的な場の活用

- お出かけサロン  
(閉じこもりや認知症予防を目的とし、地域での交流の場をつくっている。)
- 親子DEランチ  
(就学前の親子を対象とした月1回のランチ。ヘルパーさんが子どもと関わり、親がゆっくりおしゃべりを楽しむ。)
- 童話の村秋まつり  
(9月下旬から10月上旬の矢勝川沿いでは彼岸花が咲きほこる。来場者のお休処として、うどんや飲み物を期間限定で販売)
- 岩滑地区“防災と安住のまちづくり”の取り組みの中で災害時支援者と要支援者が会食の機会を通して、普段からの信頼関係をつくる。



立ち上げ情報

- ヒト ■料理好きな人が集まり、いきいきサロンをつくった。それが発展し、現在の茶屋につながっている。
- モノ ■トレーラーハウスを設置。



代表 村上真喜子さん

今後の展開

共に食事をすることで、喜びが共有できる場になってほしい。例えば、料理をつくる人が、人に食べてもらう『喜び』を感じられる場であり、食べる人も料理を作ってもらえる『喜び』を感じる場である。心に病をかかえていたり、家族の介護をしていてなかなか自分の時間がつくとれないと悩む人たちが、“自分のことをわかって受け入れてくれる場”として、今後も、人のつながりを大切にしていきたい。

ふれあいの居場所 みどり

施設概要



名 称	ふれあいの居場所 みどり
住 所	愛知県大府市江端町3-8 5
T E L	0 5 6 9 - 4 4 - 3 2 3 2
F A X	同上
E - mail	Toshi60k@ma.medias.ne.jp
U R L	<a href="http://www.cfsc.npo-jp.net/dantai/dantai_syukai/happywan_oobu/happywan_oobu.html">http://www.cfsc.npo-jp.net/dantai/dantai_syukai/happywan_oobu/happywan_oobu.html</a>
営業時間	10:00～16:00
休 館 日	土・日・祝日
運 営	特定非営利活動法人 はっぴいわん大府

立ち上げ経緯

市民が最期までいきいきと生きがいを持って、ピンピンと楽しく、生きたい。その生きがいづくりのお手伝いをし、「いつ来ても、いつ帰ってもいいみんなの家」で、食事・喫茶を通じて、互いを知り、助け合いの仲間を作り、このまちで安心して暮らせる他人家族をつくり、助け合って生きたいという想いから始めた。



具体的な場の活用

- ランチと喫茶
- 手作り品、農作物の委託販売
- 絵画、工芸品の展示（ミニギャラリー）



中学生が地域のボランティアさんに書道を教えてもらっているよ。

立ち上げ情報

モノ ■石ヶ瀬自治会：無料で集会所開放、エアコン寄付。  
 カネ ■社会福祉法人大府市社会福祉協議会  
 月々30,000円（駐車場代）



代表 久保田久代さん

今後の展開

大府市には、サロンが拡充しつつあるが、食事のできる場所は少ない。高齢者にとって大切な食事が居場所で提供されることは絶対に必要だと思う。はっぴいわんは、4カ所目となる「北山出前サロンはっぴいわん」を平成24年4月よりオープンさせる。

またスタッフは、子育て経験者がたくさんいるので子育て中の方が子どもを連れて、ゆっくりと食事ができる「地域の居場所」にしたい。「お互いさま」と言える市民の力を発揮できる場にしていきたい。

～手づくりカフェ～ Ada-coda

施設概要



名称 　～手づくりカフェ～ Ada-coda  
 住所 　愛知県知多市緑町1-2-1  
 　　　　知多市市民活動センター1階  
 TEL 　0562-33-1631  
 FAX 　0562-33-1743  
 E-mail spchita@ams.odn.ne.jp  
 URL 　http://www.cfsc.npo-jp.net/  
 営業時間 ランチ11:30～14:00　ドリンク10:00～16:00  
 休業日 　日・月曜日、第2・4土曜日  
 運営 　特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

立ち上げ経緯

「社会とつながっていたい」「いろいろな人と話をしたい」そんな想いをカタチにするために、子育て中の主婦が集って始めた。

料理好きの一般市民がシェフとして、仲間とキッチンを共有しながら、人が日替わりする、ワンデイシェフシステムで営業を開始した。4人のシェフが始めたお店も今では19団体40人のシェフが活躍する場になっている。

具体的な場の活用


- ワンデイシェフ方式によるランチ
- クッキング教室
- スイーツ教室
- 国際理解喫茶
- 中学生の職場体験受け入れ
- シェフ交流会

立ち上げ情報

- ヒト ■発案者が、友人を誘い仲間が広がった。  
 モノ ■市の遊休施設の一部を利用。



中学生職場体験の様子です。  
 外国人シェフと多国籍料理を作っているよ。




今後の展開

これまで人が人を呼び、くちコミでシェフが広がってきた。「一人では難しいことも、みんなの力や知恵が集まれば、何とかできる!!」をテーマに、それぞれのシェフの個性を活かしたイベント、カルチャー教室などと食事をセットにした人が集まるしくみづくりをし、地域に向けて情報を発信し、人のつながりを大きくしていきたい。

ここでの経験を元に起業された方もいるので、どんどん応援していきたい。

コーディネーター  
 江端智子さん(左)  
 海老原景子さん(中)  
 竹内由香理さん(右)

あみーご

施設概要



名 称	あみーご
住 所	愛知県半田市乙川栄町1
T E L	090-5617-1145
F A X	なし
E-mail	npo.palette.aichi@gmail.com
U R L	http://85.xmbs.jp/palette/
開館時間	月～木曜日 10:00～16:00
休 館 日	金・土・日・祝日
運 営	特定非営利活動法人 ぱれっと

立ち上げ経緯

地域の空き店舗を改修し、福祉の現場で働いていたメンバーが中心となって、地域住民が憩える場・地域住民が才能を活かせる場を運営している。人と人との関わり合いを増やすため、内装なども会員を中心としたボランティアで手入れをしている。また様々なイベントの企画も会員の意見から作っている。

活動の中では、『みんなで 無理せず 楽しく』やることを大切にしている。



具体的な場の活用

- 手作り品の展示・販売、ミニ教室の開催  
(書や絵画、ビーズアクセサリー、編み物など)
- ゆっくりとくつろげる喫茶の提供
- 料理教室やワンデイシェフシステム
- ぷち婚活  
(出会いと交流を目的としたイベント)
- 夏休み宿題サポート  
(夏休み中の小学生対象で、学生ボランティアと共にを行うイベント)



立ち上げ情報

- 地域福祉活動応援・はなちゃん助成金 5万円
- オールアイシンNPO活動応援基金 20万円
- 夢サポート (ちたしん地域振興支援制度) 10万円



代表 三ツ井操さん (中央)  
理事 戸田愛さん (右)  
理事 榊原恵美子さん (左)

今後の展開

あみーごが、家庭でも、職場でもない、『第3の居場所』になってほしい。コンビニみたいに気軽に立ち寄れて、好きな話ができて仲間がいる、そんな場所に。ここに集う人達は仲間をこえた、“family”である。その輪をどんどんつなげていきたい。

そして、多彩な“family”のいろいろなアイデアをカタチにしていく中で、みんなが「頼り上手、頼られ上手」になれる社会にしていきたい。

## 就労支援系

### こもれび

### 施設概要



名 称	こもれび/1階 共用設備レストラン (平成24年4月オープン予定)
住 所	愛知県大府市森岡町2-28番地
T E L	0562-85-1131
F A X	0562-85-1141
E-mail	npo@horae.dti.ne.jp
U R L	<a href="http://www.geocities.jp/obu_miyabi/">http://www.geocities.jp/obu_miyabi/</a>
営業時間	10:00~16:00(月~金曜日)
運 営	特定非営利活動法人 ネットワーク大府

### 立ち上げ経緯

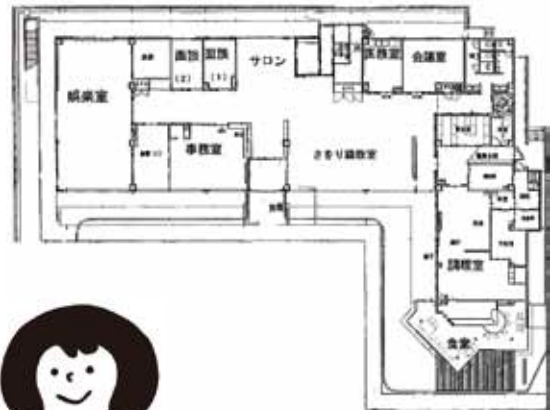
地域に根ざした活動を通じて得た仲間とともに、地域福祉を考える会を立ち上げ、助け合い活動を経て法人化した。

「住み慣れたまちで安心して暮らせる」想いを応援するため、平成24年4月に施設をオープンさせる。

施設概要は、1階は共用設備としてさをり織り部屋・ねっとわーくサロン「麻雀の会」・娯楽室・レストランがある。2階にはグループホーム「うえまつ」、3・4階には特別養護老人ホーム「もりおか」、短期入所活介護（ショートステイ）がある。

### 具体的な場の活用

- ケーキ、パン、クッキーづくり  
(就労継続支援事業B型 申請予定)
- ランチ・喫茶  
(地域の人が気軽に交流できるレストランを目指す)



### 立ち上げ情報

- モノ ■ 地元の地主が、活動に共感し、低地借地権50年で土地を安く貸してくれた。
- カネ ■ 地域支え合い体制づくり事業 交付金350万円



代表 矢澤久子さん

### 今後の展開

発達障がい等の医療診断はないがボーダーと言われる人たちに、まず5万円の給与体制を目指したい。ゆくゆくは、豊橋市の社会福祉法人童里夢（どりーむ）のように、防災時の缶入りパンの製造から販売までの一貫した事業をしたいと考えている。

誰もが地域の中で役割がある。だからこそ、一人ひとりが「社会の役に立っている」と感じる仕事を考え、提案していきたい。



# HandA Cafe

## 施設概要



名称	HandA Cafe
住所	愛知県半田市広小路町90番地 クラシティ3階
TEL	0569-47-5537
E-mail	chita@endgoal.net
URL	<a href="http://www.chitayle.jp/blog/handacafe/">http://www.chitayle.jp/blog/handacafe/</a>
営業時間	9:30~18:00
休館日	月曜日、第4水曜日
運営	特定非営利活動法人 エンド・ゴール

## 立ち上げ経緯

半田市の委託で地域活性コミュニティネットワーク促進事業の一環とし、半田市交流センター内において、「地域PRカフェ」を拠点とし、市民団体・商店とのネットワークや、広報活動を行い、知多半島の商店・市民活動の活性化を図ることを目的としている。

## 具体的な場の活用

- カフェ
- 知多半島の名産物を使ったメニュー
- 知多半島産の野菜販売



知多半島の名産物を使ったランチメニュー♪



地元野菜を格安で販売しているよ



地元商店の新製品



## 立ち上げ情報



- ヒト ■スタッフがカフェで働きたい地元仲間を誘った。  
 カネ ■ふるさと雇用再生特別基金事業 2名雇用



スタッフ 榊原真紀子さん

## 今後の展開

HandA Cafeで、人と人が出会い、つながって、新しいモノが生み出される場になってほしい。例えば、新しい半田のイベントだったり、半田の名物だったり、ここは無限の可能性を感じる場所。

スタッフとして、地域のコーディネーターとしてゆるやかなネットワークをつないでいきたいと考えている。

## ちた地域若者サポートステーション & ChitaSan



### 施設概要

名 称	ちた地域若者サポートステーション&ChitaSan
住 所	愛知県半田市広小路90番地 クラシティ1階
T E L	0569-47-5537
F A X	0569-47-5538
E-mail	chita@endgoal.net
U R L	http://endgoal.net
開所時間	10:00~18:00
営業時間	平日 9:00~19:30 / 土日祝日 10:00~19:30
休 館 日	サポステ：水・日・祝日・年末年始 ChitaSan：第4水曜日
運 営	特定非営利活動法人 エンド・ゴール

### 立ち上げ経緯

厚生労働省の委託事業で、若者サポートステーションを運営し、また隣には知多半島のアンテナショップ「ChitaSan」を併設させている。

この場を運営していくにあたって大切にしていることは、相談に来られる場づくり、若者にとって相談のしてくれる人がいる場づくりを心がけている。若者とかかわりを持ち、ご縁をつなげ、それぞれが巣立っていく場＝育成する場である。

### 具体的な場の活用

- 専門家による、一人ひとりの状態に合わせた相談
- ステップアップのためのプログラム
- 職場見学・職場体験
- 保護者向けの支援
- 知多半島の物産の販売
- 知多地域観光キャラクター“知多娘。”グッズ販売



### 立ち上げ情報

モノ ■事務所兼店舗は、地元NPO・行政・商工会などから支援を受け、立地条件の良い場所に借りている。



代表 大久保智規さん (右)  
スタッフ 久綱優路さん (左)

### 今後の展開

若者が困ったときに、相談できる場が全国に拡がり、地域で若者を育てるしくみづくりを波及させていきたい。例えば、現在は厚生労働省からの委託で受けている若者サポートステーションを、行政予算ではなく、地域（企業・大学・商店等）で支えるしくみにしていきたい。

予算面だけでなく、若者の活躍の場としては、“世界”と“地元”との両輪で活躍できる人材を輩出していきたいと考えている。「地元（地域）を愛する若者」たちが、また次世代の若者を育てていくと期待している。

街かどサロン きらり

施設概要



名 称	街かどサロン きらり デイサービス きらり(平成24年5月オープン)
住 所	愛知県常滑市塩田町1丁目155
T E L	0569-47-5575
F A X	0569-47-5576
E-mail	info@akari-npo.jp
U R L	http://www.akari-npo.jp /
運 営	特定非営利活動法人 あかり

立ち上げ経緯

「困ったときは、お互いさまの気持ち」を大切にし、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」「誰でも小さな夢や希望、生きがいを持てる」よう、たすけあい事業・介護保険事業など活動してきた。

極めて高齢化が進む常滑市において、地域の中のもう1つの居場所として、普段の暮らしの助けあいを通してみんなが集う交流の場になってほしいと願い、新たに開設する。

子どもから高齢者までの日常的に交流できる場が、失われつつあるが、“きらり”が開設することで地域力の再生につながることを願っている。

具体的な場の活用

- 多世代交流の場  
(太極拳、さをり織り教室等誰でも参加ができる教室、他多種多様な講座を企画中)
- ティールーム  
(誰でもゆつくりと憩える居場所)
- 短時間デイサービス  
(個人のニーズを尊重し、子どもと触れ合えるメニューを企画中)



立ち上げ情報

- モノ ■土地は、常滑市から無償貸与。
- モノ ■知多学園の認定子ども園と隣接。



代表 竹田加津子さん

今後の展開

子ども・若い世代や高齢者を交えた多様な人々が交流し、生きがいの持てる暮らしを目指すことは、あかりの長年の夢である。まちかどサロン“きらり”が、その夢の第1歩として、踏み出すことになった。

また、常滑市のモデルケースとなって、市内各地区へ波及することを願っている。

## 南粕谷コミュニティ地域文庫 & ひだまり

### 施設概要



南粕谷コミュニティ  
地域文庫

ひだまり

名 称	南粕谷コミュニティ地域文庫&ひだまり
住 所	愛知県知多市南粕谷本町3丁目77 (知多市立南粕谷小学校内)
T E L	080-4215-5371 (土日のみ)
開館時間	13:00~16:00
開館日	土・日曜日
運 営	南粕谷コミュニティ 生涯学習部会

### 立ち上げ経緯

知多市内でも高齢化率の高い南粕谷地区。小学校を中心に住民同士の助けあい学びあい活動が盛んなコミュニティだ。

「学び合い 和が輪になって 広がるなかま」をテーマに、小学校の図書館を地域の人にも開放しようと10年前に活動が始まった。平成23年4月より、隣の空き教室を自由におしゃべりを楽しんだり、ゆっくりと過ごせる地域の“居場所”として、オープンさせた。赤ちゃんから、高齢者までさまざまな人が行き交う場になっている。



### 具体的な場の活用

- 本の貸し出し
- 本の読み聞かせ
- フリースペース



地域の方が、写真を撮り  
作成した手作り写真集

### 立ち上げ情報

モノ ■南粕谷小学校 空き教室  
カネ ■知多市コミュニティ活性化委託事業  
60万円 / 平成23年度



### 今後の展開

南粕谷コミュニティの“本が好き”な仲間がボランティアで行っているので、今後も仲間と一緒に大好きな読書を楽しみたい。

子どもたちには、本に親しむことで、想像力を養ったり、知性を芽生えさせたり、心の引き出しをたくさんつくってほしいと願っている。

今後も地域文庫を整備すると共に、本の魅力や、地域文庫の魅力を伝えていきたい。



代表 高岡郁子さん

親子のひろば あんだんて

施設概要



名 称	親子のひろば あんだんて
住 所	愛知県知多郡東浦町藤江字西の宮80-1
T E L	0562-85-0406
F A X	同上
E-mail	o-andante.04101.ya@ma.medias.ne.jp
U R L	http://milky.geocities.jp/andnt_04101
開館時間	9:30~15:30
休 館 日	土・日・祝日
運 営	親子のひろば あんだんて

立ち上げ経緯

保育士の経験を活かし、地域の子育て支援を目的とした「たまり場」が必要と考えた山本さんが、愛知県地域づくり協働支援事業『地域再生起業プランセミナー』を受講し、あんだんてを開設した。

地域でつながっている安心感が、孤立した子育てを回避する。また、子育て中の親子だけでなく、いつでも地域の人たちが集うことで、自然におこる交流が子どもたちの成長を見守り、応援につながっているという。

具体的な場の活用

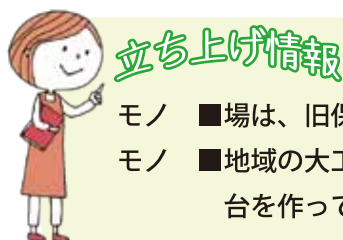
- 子育てひろば  
(室内では、玩具やボールプール、戸外ではすべり台や砂場で自由に遊べる)
- 相談 (電話相談・面接相談・出張相談)
- 託児
- 交流 (カフェの日、ティーンズママの会、パパとあそぼう会、地域交流会等)
- 春季夏季学童保育



桜が満開になる春に見に来てね!!



ひろばで、一緒に  
トイレトレーニングもできるよ。



立ち上げ情報

- モノ ■場は、旧保育所を東浦町から無料で賃貸。
- モノ ■地域の大工さんが、無料で子ども用キッチン台を作ってくれた。



代表 山本和枝さん (右)  
スタッフ 加藤智子さん (左)

今後の展開

人間関係が希薄になってきた現代だからこそ、地域の中で子どもの育つ場が必要である。乳幼児の親子だけでなく、学童期の子どもたちも利用できるよう、平成23年3月末より春季学童保育を始める。

設立当初より大切にしてきた“人の温かさ”にこだわり、多世代が互いに支え合う場として拡充していきたい。

# 住民+NPO+社協による「笑顔と人情とチャレンジ」拠点系

## 共生型福祉施設 おっかわハウス

## 施設概要



名称	共生型福祉施設 おっかわハウス
住所	愛知県半田市庚申町2丁目58番地の1
TEL	0569-32-3440 または 21-5585
FAX	0569-23-7745
E-mail	handa-v@space.ocn.ne.jp または soudan@cac-net.ne.jp
URL	<a href="http://www.handa-shakyo.com">http://www.handa-shakyo.com</a>
開館時間	10:00～17:00 (冬季は16:30まで)
休館日	土・日曜日・祝日
運営	社会福祉法人 半田市社会福祉協議会

## 立ち上げ経緯

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくための拠点づくりの一環。ちょっとした困りごとを相談する場、特徴や趣味を活かす場、地域で暮らす仲間を増やす場として、古民家を改修。NPO法人『菜の花』が運営する放課後児童クラブが併設されており、子どもたちの元気な姿がある。



隣にNPOが運営する放課後児童クラブ「こどものいえ」

## 具体的な場の活用

- 多世代交流サロン
- 子育てサロン「わくわく」  
《手をつなぐ育成会が運営》
- 障がいを持つきょうだいサロン「てくてく」  
《障がいを持つきょうだいが抱える悩み・不安・葛藤を気軽に話せる場（相談窓口）》
- 宿泊体験・訓練サロン「すくすく」  
《知的・発達障がい児等が主な対象》
- 書道教室・手芸教室
- 身近な相談窓口
- 野菜販売  
《精神障がいのある方たちが野菜を栽培》



宿泊体験施設



## 立ち上げ情報

- カネ ■国土交通省高齢者等居住安定化推進事業費  
約2,300万円（改修費・運営費）
- ヒト ■ボランティア、日本赤十字半田支部乙川分団有志、  
手をつなぐ育成会 等
- 地主さんが、活動に共感し貸してくれた。



スタッフ 鋤柄春華さん

## 今後の展開

今後さらに自治区との協働の取り組みをしていきたいと考えている。自治区の区長さんには、開設時からチラシを配ってもらうなどお世話になっている。会合に使ってもらうなど、『おっかわハウス』を活用していただきたい。

また、気軽に行ける相談窓口として、地域に根差していきたい。

## 多世代交流サロン 共生型福祉施設 なるなるの家

## 施設概要

名 称	多世代交流サロン 共生型福祉施設なるなるの家
住 所	愛知県半田市栄町4丁目65番地
T E L	0569-77-0291
F A X	同上
開館時間	10:00～15:00
休 館 日	日・月曜日
運 営	地域助け合いの会 なるなるの家



## 立ち上げ経緯

地域で助け合い、安心して暮らしていける地域づくりを目指し、多世代交流サロン・助け合い活動をなるなるを拠点に始めた。介護保険制度では、“生きる”最低限のことしかできず、生活者にとって選択肢がないということに痛感。困ったときに助けってもらえる場を普段暮らしている地域の中でつくっていかうと考えたことがきっかけになっている。



## 具体的な場の活用

- 多世代交流サロン  
(赤ちゃんからお年寄りまで気軽に利用できる、地域の憩いの場)
- 助け合い活動  
(家庭での困ったこと、手伝ってほしいことを会員相互の助け合いでサポートするため、サポーター会員を紹介する)
- 健康講座、健康相談  
(専門家を講師に定期的に開催)



## 立ち上げ情報

- カネ ■半田市共生型福祉施設補助金 200万円  
(キッチン改修など)
- 夢サポート(ちたしん地域振興支援制度) 10万円
- 国土交通省高齢者等居住安定化推進事業費 約103万円  
(運営費補助 平成23年度)



代表 濱中正行さん(左)  
他、スタッフの方々

## 今後の展開

一昔前は、“おせっかいおばさん”がいた。地域の困りごとや、子どもたちへの指導などに口を出していた。今また復活させ、おせっかいしたい人をうまくコーディネートして、地域で活躍してもらいたい。そして、なるなるの家がその拠点になったり、きっかけづくりができる場になればいいと思っている。

コンビニくらいの間隔で「居場所」ができ、そこに住む地域の人で運営して欲しいと考えている。

## 菜の花の家～成岩

### 施設概要



名 称	菜の花の家～成岩
住 所	愛知県半田市春日町3-10-2 ふらっと1階
T E L	0569-84-2070
F A X	0569-84-2071
E-mail	mein@npo-nanohana.com
U R L	<a href="http://npo-nanohana.com/">http://npo-nanohana.com/</a>
開館時間	24時間
休 館 日	無し
運 営	特定非営利活動法人 菜の花

### 立ち上げ経緯

デイサービスを運営する中で、心の病をもつ若者との出会い・交流を通して、徐々に彼らが生き生きと輝く場面に出会った。そのような中、平成18年に小規模多機能型居宅介護が打ち出され、高齢者と若者の交流や就労場所が必要だと感じ、NPO法人t oピアとNPO法人菜の花の2団体協働運営が始まった。

物忘れがあっても、障がいがあっても、子どもから高齢者まで、住み慣れた地域の中で生き生きと暮らせるまちづくりを目指して運営している。

### 具体的な場の活用

- 小規模多機能型居宅介護

ふらっと全体では…

- 七夕まつり
- クリスマス会

を合同企画で行っている。



夏祭りの様子です。

### 立ち上げ情報

ヒト ■昼食・夕食・清掃の一部をNPO法人 t oピアに委託している。

カネ ■建築の際、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を利用。



管理者 本田賢作さん

### 今後の展開

今以上に地域の人に菜の花の家～成岩での活動などを知ってもらい、一緒にイベントや行事を活発に行っていきたいと考えている。

まだまだ、地域の中での知名度が低く、何をしているところかも知らない近所の人もいる。

地域への情報発信を大切につなげていきたいと思う。



toピア

施設概要



名 称	toピア
住 所	愛知県半田市春日町3-10-2 ふらっと 2階
T E L	0569-23-1152
F A X	同上
E-mail	topia_hand@ybb.ne.jp
U R L	http://www.geocities.jp/topia_handa/
開館時間	10:00~15:00
休 館 日	日曜日・祝祭日
運 営	特定非営利活動法人 toピア

立ち上げ経緯

専業主婦だった小久保さんが、引っ越しを機にボランティア活動を始めた。そこで日中の障がい者（児）の居場所が少ないということから、公民館の鍵の開け閉めだけならできると考え、“地域の居場所”が始まった。

そこには、心に病を抱える若者がたくさん集ってきた。

また、外には出られない若者からの連絡もあった。そのような若者と関わる中で、『働きたい!』という声に応え、一人ひとりにあった働き方を選択できるようにメニューを用意している。自分らしさを活かし、地域のひとりとして生きられる場をつくっている。

具体的な場の活用

- フリーユニット  
(Fメンバー・メンバー・ユニットリーダー・サブリーダー・スタッフなど役割で仕事の日数・内容が違う。自分で役割を選んで仕事に参加している。)
- 就労応援
- 個別相談
- 応援相談



菜の花と共同で行ったイベントの様子

立ち上げ情報

ヒト ■立ち上げて1年間、活動に共感したNPOが週2回ボランティアで関わってくれた。



パソコン講座での様子



サービスラーニングの学生と企画達成の記念にパチリ!!



代表 小久保紀子さん

今後の展開

平成25年度には、就労継続支援事業を行う予定。toピアを巣立ち、社会に出て就職した人もいるが、長期だと難しいのが現状。就労継続支援事業で、収入面を含めた支援を行い、後退できる体制づくりが必要になっている。戻れる場所があることを安心材料に、どんどん社会で活躍してほしい。一人ひとりに合った必要な支援をしながら、『自分らしく生きる』を一緒に考えていきたい。

フリースペース まな

施設概要



名 称	フリースペース まな
住 所	愛知県知多市緑町3-2-6 福祉活動センター
T E L	0562-39-0800
F A X	0562-39-0820
E-mail	sougouvc@ma.medias.ne.jp
U R L	<a href="http://www7.ocn.ne.jp/~shakyo/sougouvc/">http://www7.ocn.ne.jp/~shakyo/sougouvc/</a>
開館時間	13:30～16:00
開 館 日	第2・4土曜日
運 営	若者応援隊 「まなざし」

立ち上げ経緯

ひきこもり支援サポーター養成講座を終えたメンバーが、社会福祉協議会とともに1年間の勉強を行い、ひきこもり、不登校支援のための若者応援隊「まなざし」が発足した。

そこで地域・学校・家庭の中に自分の居場所が見い出せない若者、子どもたちとともに、一人ひとりが安心して過ごせる居場所が必要とフリースペースまなを開設した。



具体的な場の活用

- フリースペース  
(レクリエーションやスポーツ、麻雀、ゲームなどを楽しんでいる)
- 家族支援  
(親の相談を受けている)

若者応援隊「まなざし」では・・・

- 若者サポート進路を考える会
- 啓発セミナーや講座



立ち上げ情報

- ヒト ■ 社会福祉法人知多市社会福祉協議会との協働。  
 カネ ■ 啓発講座：知多市青少年居場所づくり委託事業  
 30万円/年



代表 大脇正徳さん

今後の展開

『フリースペースまな』に参加し、一歩外へ出て‘地域のボランティア’を始めた人もいます。やはり、居場所の必要性を感じる。

予算の課題はあるが、行きたいと思った時に、行ける“常設型”の居場所にしていきたいと考えています。そのためにも、知多市にある他機関・他団体と連携し、資金や場所などの情報共有をしつつ進めていきたい。

共育ふぁ～む

施設概要



名 称	共育ふぁ～む
住 所	愛知県半田市岩滑西町付近の畑
T E L	090-8079-8809
F A X	0569-23-6531
E-mail	nao-527@space.ocn.ne.jp
U R L	<a href="http://kyouikunet-handa.jimdo.com/">http://kyouikunet-handa.jimdo.com/</a>
運 営	特定非営利活動法人 共育ネットはんだ

立ち上げ経緯

人と関わる力をつける基盤となる幼児期は大切である。その幼児期から、多くの人と出会い関わりあいながら、様々な体験を積み重ね心身共に豊かに育ててほしいと心から願いつつ、農体験など自然体験活動に取り組んでいる。

子どものやりたい！知りたい！！が育つ時だと捉え、子ども自らの意欲を大切に、親子で育ちあえる体験活動を行っている。



具体的な場の活用

- 親子de農園デビュー！  
(苗植え・草取り・収穫・クッキング等)
- 青空音楽ライブ&絵本の読み聞かせ
- 秋まつりでふぁ～む茶屋&フリーマーケット  
(発達障がい児の接客体験)
- ビオトープ管理
- 花の栽培、管理



畑の草取りも、みんなでするよ。

立ち上げ情報

- ヒト ■活動に共感した地域の方が協力してくれている。
- カネ ■地域福祉活動応援・はなちゃん助成金 5万円
- 夢サポート(ちたしん地域振興支援制度)10万円  
(耕運機、水上げポンプ、草刈り機などを購入)



大きいさつまいもが取れたよ!!

今後の展開

今までは、親子対象の活動拠点として休日のみ活用していたが今後は、保護者のみ、不登校の児童・生徒、教育者をめざす若者、セカンドライフ世代など幅広い人を対象に、それぞれにマッチする企画を開催し、「共育ふぁ～む」を屋外の居場所、共育の場として平日も活用しようと考え期待に胸を膨らませている。



代表 水野尚美さん

# 地域の人とつなぎ系

## もーちゃんハウス

## 施設概要



名 称	もーちゃんハウス
住 所	愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字英比16
T E L	0569-48-8249
F A X	0569-48-8268
E-mail	moyai@cac-net.ne.jp
U R L	<a href="http://www.cac-net.ne.jp/~moyai/">http://www.cac-net.ne.jp/~moyai/</a>
開館日	講座 7月～8月(夏休み期間中) ※貸部屋としては年中使用
開館時間	9:00～17:15(希望があれば21:00まで)
運 営	特定非営利活動法人 もやい

## 立ち上げ経緯

もやいは、地域の中の足りない支援を困った時はお互いさまの精神で介護保険事業・在宅支援事業等をしている。

必要な時、すなわち365日、24時間「やれるだけ努力しよう」、そして後世に「その姿を見せたい」という想いから、子育て支援事業にも取り組んでいる。

核家族化が進み、家庭の中での『甘えられる場』が大人にも子どもにもなくなってきた。そこで、家族の中の足りない機能は、地域で補うといった考えの元、もーちゃんハウスでは、子どもと高齢者、地域の人が出会い・触れ合う機会をつくり出している。もーちゃんハウスの活動や体験を通して、子どもも大人も、自信・意欲につながっている。

## 具体的な場の活用

- 手づくり品の制作  
(自分色のガーゼスカーフ染め・かんたん勾玉・絵手紙で暑中見舞い・和布でストラップ・折り紙でつるし飾り等)
- 食育  
(蕎麦づくり・ばあちゃんのおやつ・大茶碗でお濃茶・シフォンケーキづくり等)
- 地域の人との交流  
(夜空を観る会・マジック・英語であそぼう等)



## 立ち上げ情報



- モノ ■大家さんから牛小屋の改装許可を得て、改装後無料賃貸。
- カネ ■夢サポート(ちたしん地域振興支援制度) 50万円/平成20年度



代表 安井洋子さん

## 今後の展開

もーちゃんハウスは、結果ではなく過程を大切にしている。だからこそ、地域の人々のゆるやかな愛情の中で子どもたちは“成功体験”を積み重ね、人と関わることが好きになったり、コミュニケーションをとったりしながら、人間力を育ててほしいと思う。そして、子どもたちが大人になった時、“介護”を担う人になって、ゆくゆくは阿久比町の福祉のレベルアップにつなげていきたい。

## てらこや

## 施設概要



名 称	てらこや
住 所	愛知県知多市南粕谷本町1丁目196番地
T e l	0569-42-0909
F a x	0569-42-0930
E-mail	daichiin@ma.medias.ne.jp
U R L	http://daichiin.jp/
開講時間	8:00~11:00くらい (※日によって異なる)
開 講 日	夏休み中の6日~10日間
運 営	大智院

## 立ち上げ経緯

てらこやは、昭和6年から始まった。農繁期の託児から、カタチを変えて、現在に至っている。子どもたちは生まれながら、清らかな宗教心の芽生えを持っている。てらこやは、本来子どもの持つ美しい心（情操）とモラルを培い、感謝の心を持った円満な人格形成の一助にとの願いから開設された。



## 具体的な場の活用

- 体験学習（お経を唱える、風呂敷で通う等）
- 社会教育（異年齢の小集団活・世代交流、工作、学習、ゲーム等）
- 親にむけての子育て講座（親同士が悩みを話し聴き合う場）



- 「てらこや通信」を発行（その日の出来事を親に向けて発信するかわら版）
- てらこやにかかわるボランティアの養成講座（できる・教えるの違いを知ることを体験）



## 継続情報

- ヒト ■全国子ども会連合会などの活動で知り合った仲間が、てらこやの活動を支えてくれている。
- モノ ■食事をつくる際は、地域の人が野菜や飲み物を差し入れしてくれる。



代表 長谷川実彰さん

## 今後の展開

もっと身近に地域の“文化”に触れ、郷土愛を持った子どもを育てたい。そのためには今後も、地域のいろいろな年齢、職種の方に関わってもらいたい。

毎回、地域のボランティアスタッフがメモを持っていて、子どもの良いところを見つけたら記入し、てらこやの中で“いい人見つけた!!”と発表する。私から、ほめられるだけでなく、地域の人にほめられることは、子どもにとってうれしいことである。このようにして、いろいろな人の目で見守られながら、「自信」を育ててほしい。

知多半島では1990年に東海市で在宅サービス団体（東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛）が活動を始めて以来、市民互助型在宅福祉活動が活発化した。各市町で団体が誕生する中、情報交流会やネットワークづくりを意識的に行う人たちが出現し、その人たちによってつくられたネットワークを基にサポートちたの母体となる「ちた在宅ネット」が1998年5月に誕生した。

その後、1998年のNPO法施行や2000年の介護保険制度導入をきっかけとして各団体が組織化・事業化をさらに進めることとなり、それらの中間支援組織として1999年8月に「地域福祉サポートちた」が設立した。

誰もが助け合い、心豊かに生活できる地域福祉社会を形成していくことを目的に分野を超えた情報交流ネットワークをさらに広げ、自分らしく、人間らしく生きていける地域づくり・まちづくりに日々努力を重ねている。

**多世代交流による新しい支え合いのしくみづくり  
BEST PRACTICE 先進取組事例集**

2012年3月26日 第1刷

発行者：愛知県

企画編集：特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

E-mail spchita@ams.odn.ne.jp

この冊子は、平成23年度新しい公共支援事業

「新しい支え合いの仕組みづくりのための協議の場開催事業」で作成致しました

## おわりに

### 地域における支えあい

愛知県では、地域の課題を解決するため、地域の多様な主体が連携・協働して支えあう「新しい支えあい」を推進することとしています。このため、NPOと県との意見交換会や協働ロードマップづくり、そして先進取組事例集の作成に取り組んできました。協働ロードマップ作成の協議の場では、地域での支えあいを進める上で、居場所づくりが重要であることを確認しました。そうした議論を踏まえて出来上がったのがこの先進取組事例集です。県内で実施されている様々な支えあいの取組に加え、居場所づくりを進める際の参考にしていただきたいと思います。

愛知県健康福祉部医療福祉計画課 主任主査 坂井明彦

### 「共生型居場所」のすすめ

「共生とは何？」知多地域版協働ロードマップ策定の協議の中で何度もつぶやかれた言葉です。「どこで誰が始めるかによって、組み合わせはいろいろあっていい」「来る者同士が互いに寄りあい気軽に困りごとを持ち寄れる場」として、すでに多くの居場所が自由に展開されています。そのあり方を決めるのは、居場所を立ち上げ、継続して運営していく意志のある市民です。「従来の大きなしくみで予測してコトを行うこと」が大変難しい時代になりました。「多世代が交流し支えあえる地域づくりのために、私にできることは何か？」意志ある市民の力が、今こそ求められています。

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事 岡本一美

